

開智日本橋学園

食糧難

SRNから国民を守る党

ゆめ

や

ちから

夢屋 力

施肥計画

- ・ 山梨甲府第一高等学校
止葉期の肥料の量12→32 ➡ 一粒の大きさアップ
- ・ 金沢大学附属高等学校
起生期の肥料の量18→32 ➡ 収穫量・タンパク量
アップ



起成期、止葉期での施肥量を**増加**

施肥計画

表 プランター当たりの硫安量

	基肥 (g)	起生期 (g)	止葉期 (g)	合計 (g)
基準区	10	18	12	40
研究区	10	28	25	63

神田川



③

②

①

③

②

①

基準区

研究区



校舎

校舎
38m

ここで育て
ました！



神田川の鳥



対岸のビル



33.9m

プランター(現在)



様子

1 年間の軌跡

播種



起生期



麦踏み



分けっ



收穫時



播種 10月27日



生育状況

発芽 11月2日頃

起生期 1月9日



麦踏み 2月7日



分けつ 2月8日

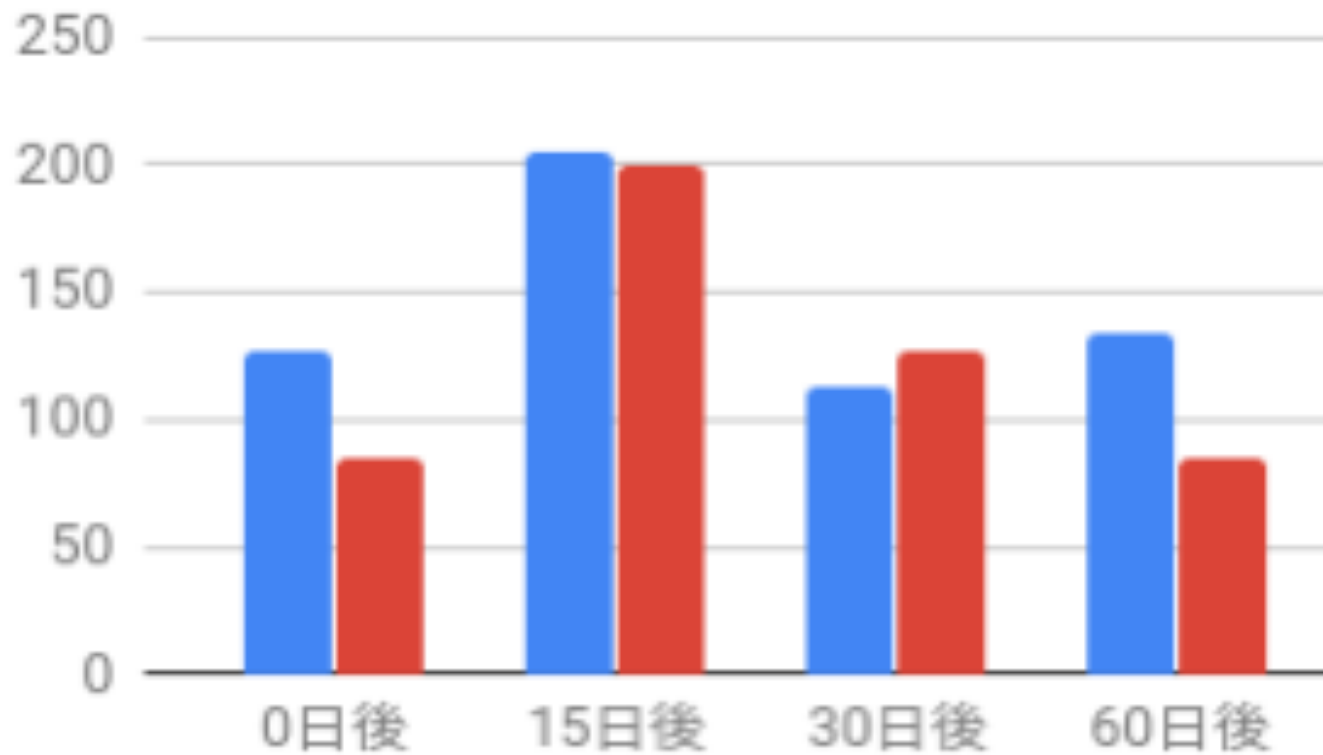


収穫時 6月12日

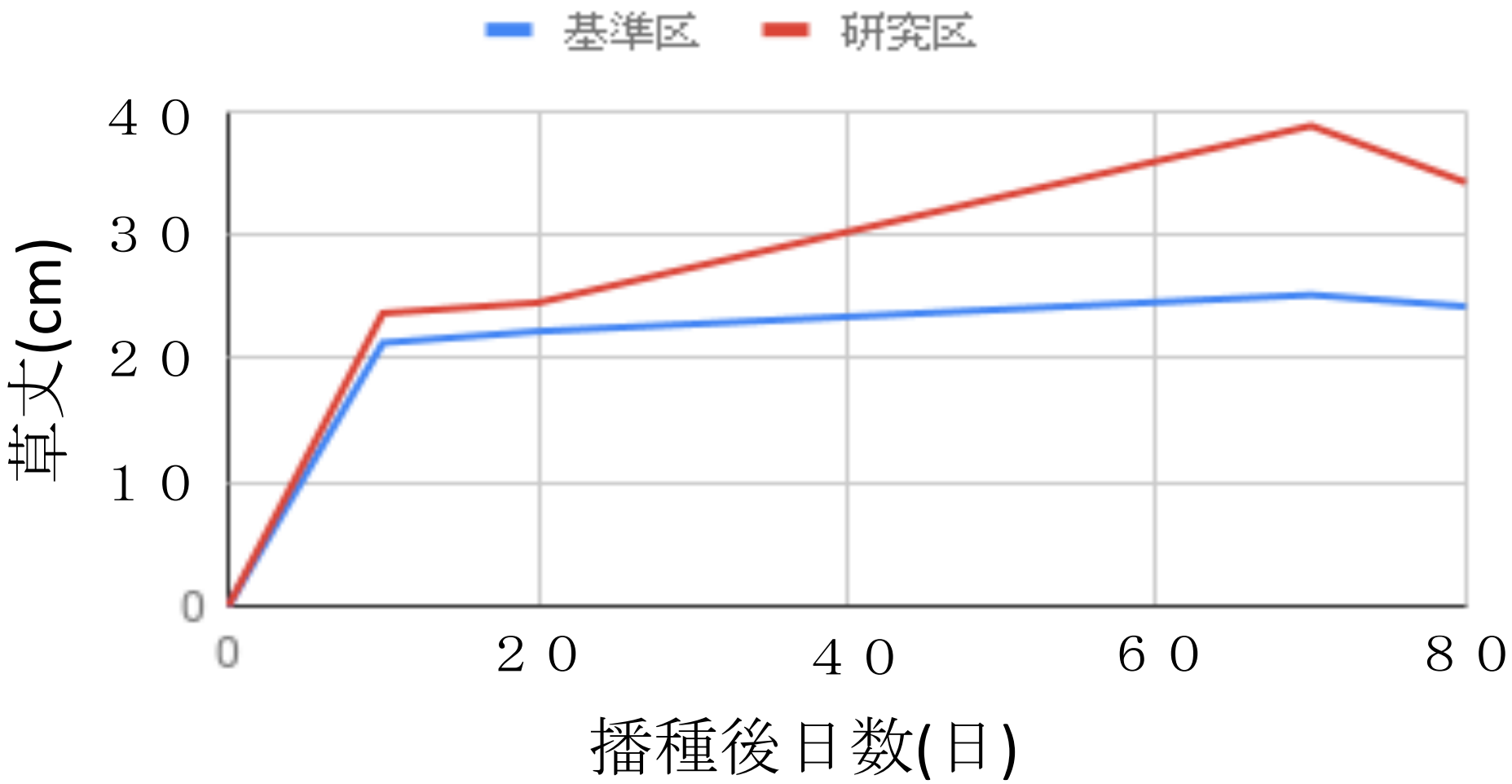


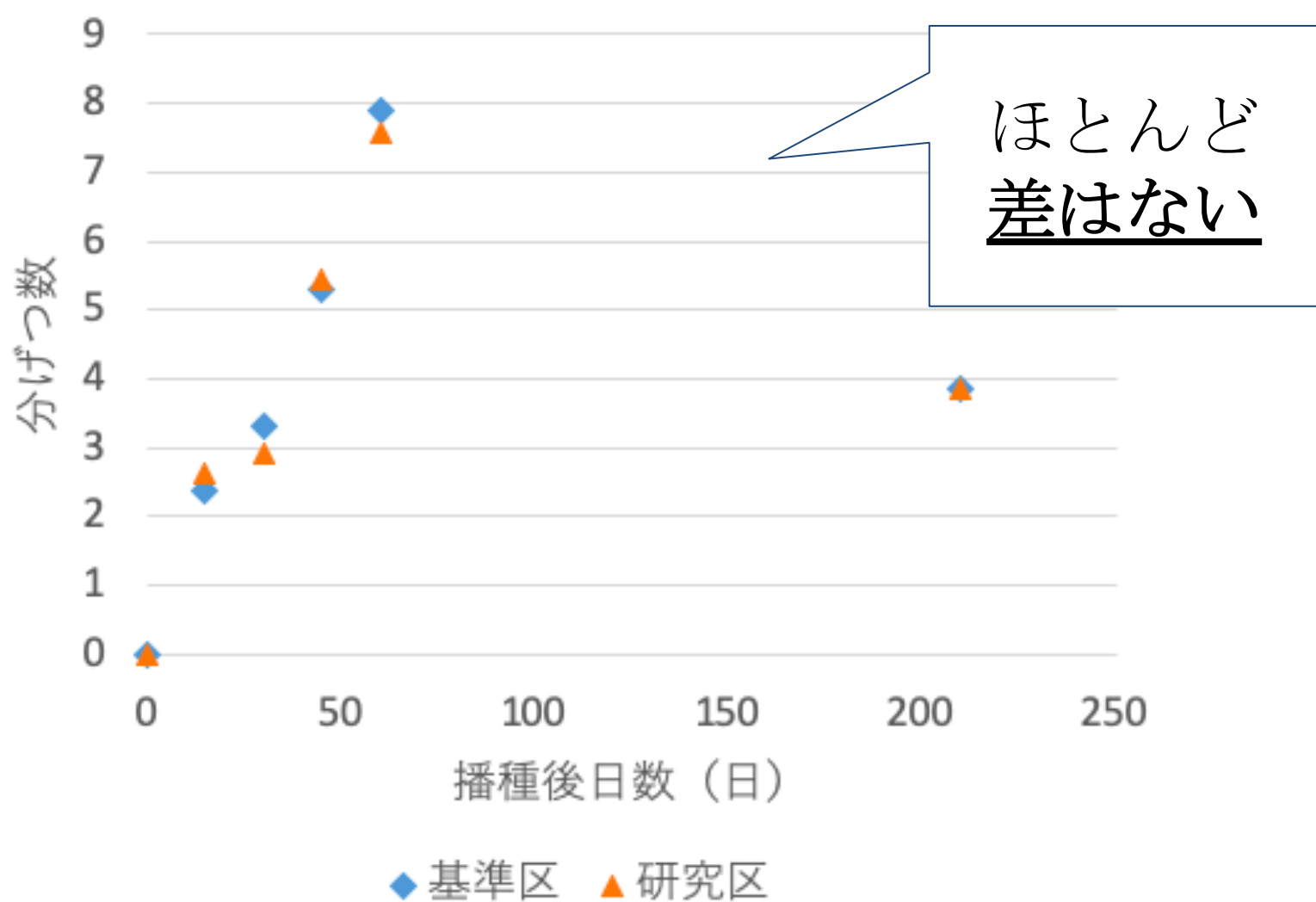
土壤硝酸濃度(ppm)

基準区 研究区

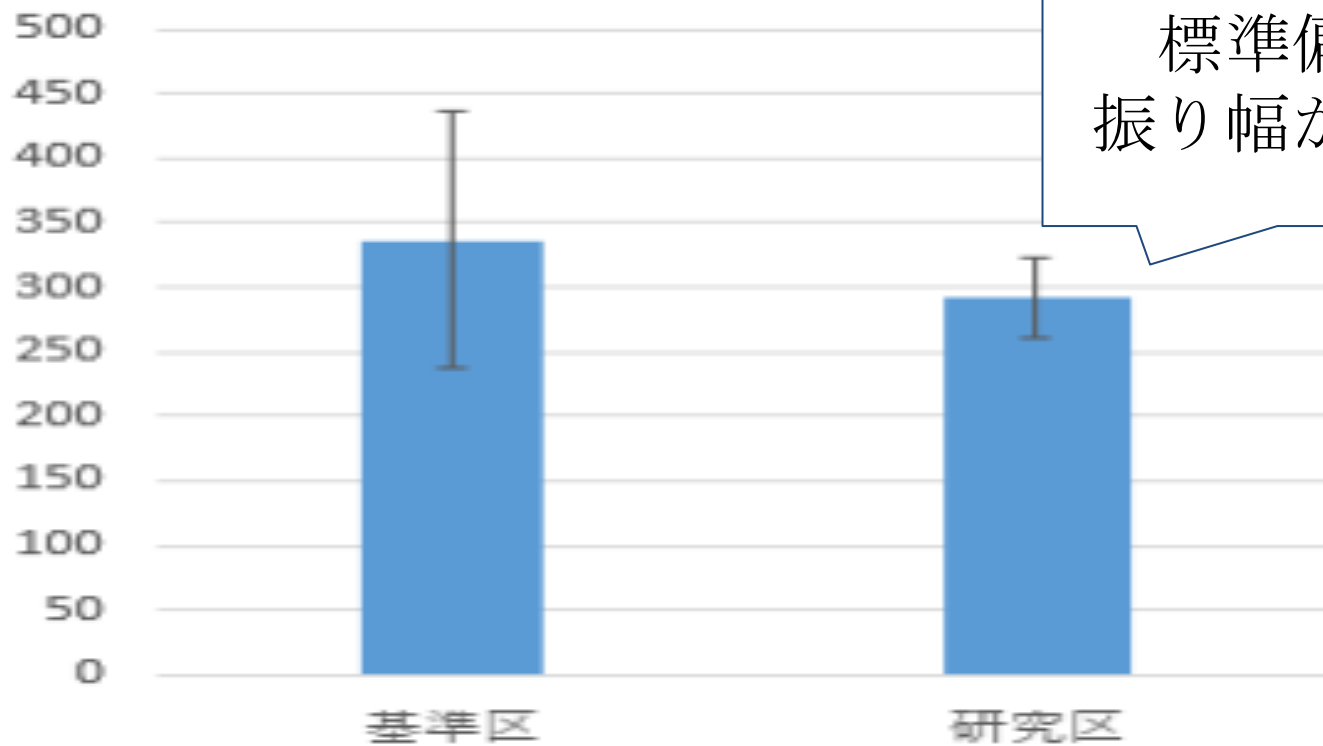


播種後日数



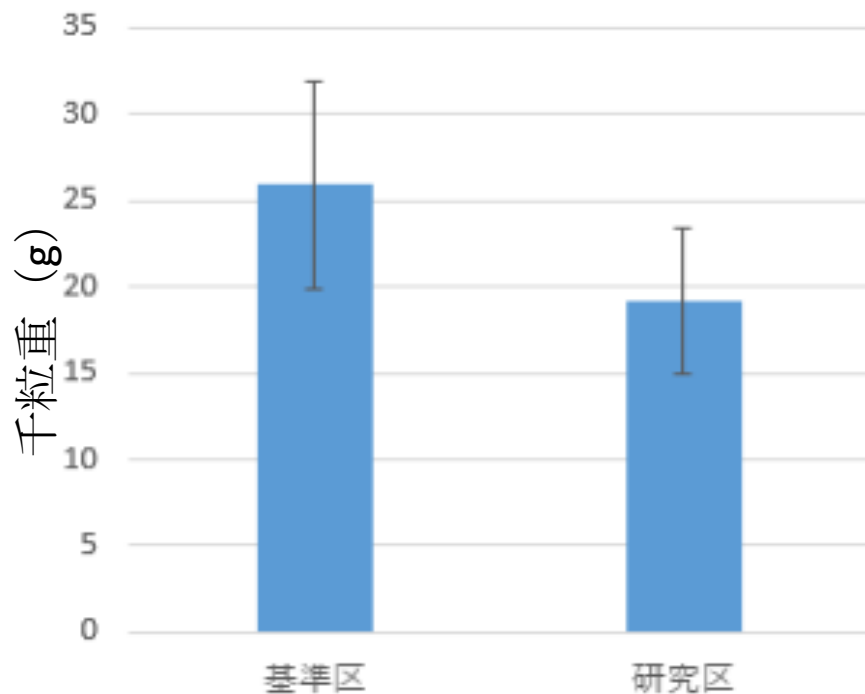


穂数 (本/m²)



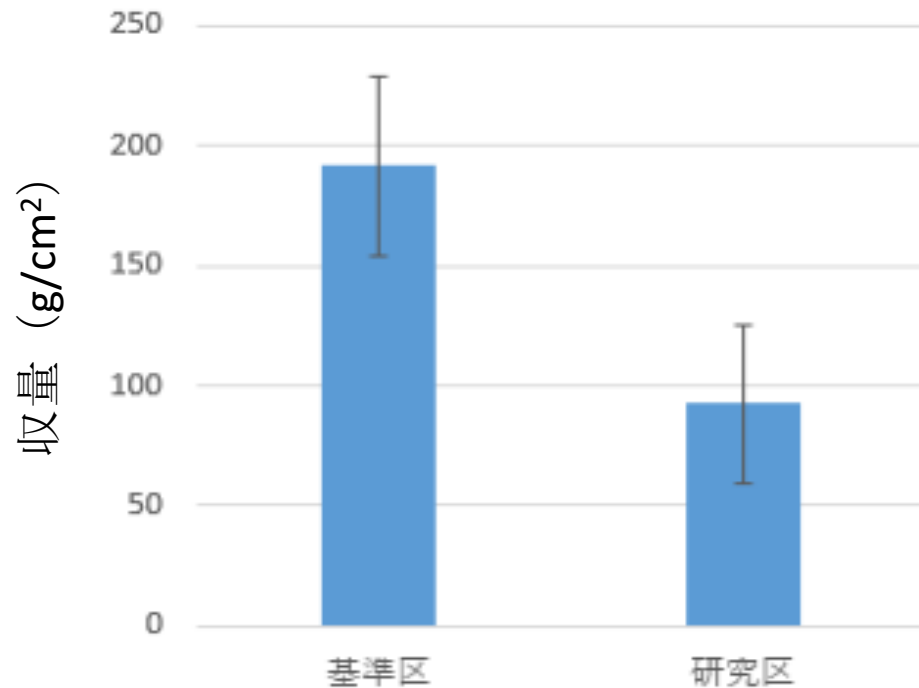
有意な差はない

千粒量 (g)



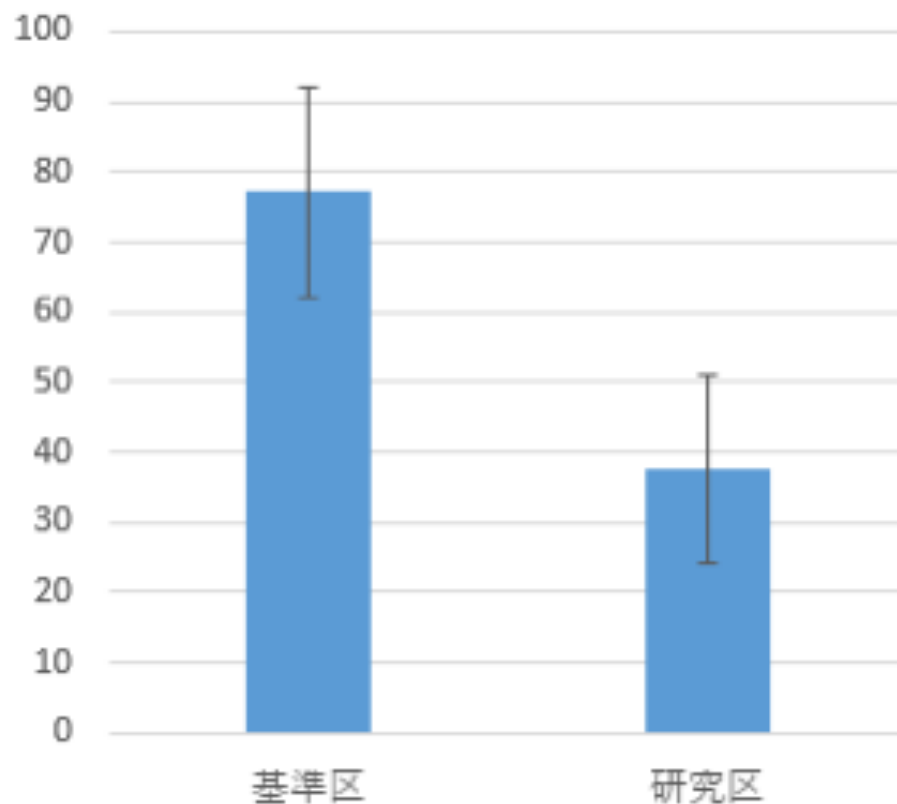
有意な差はない

収量



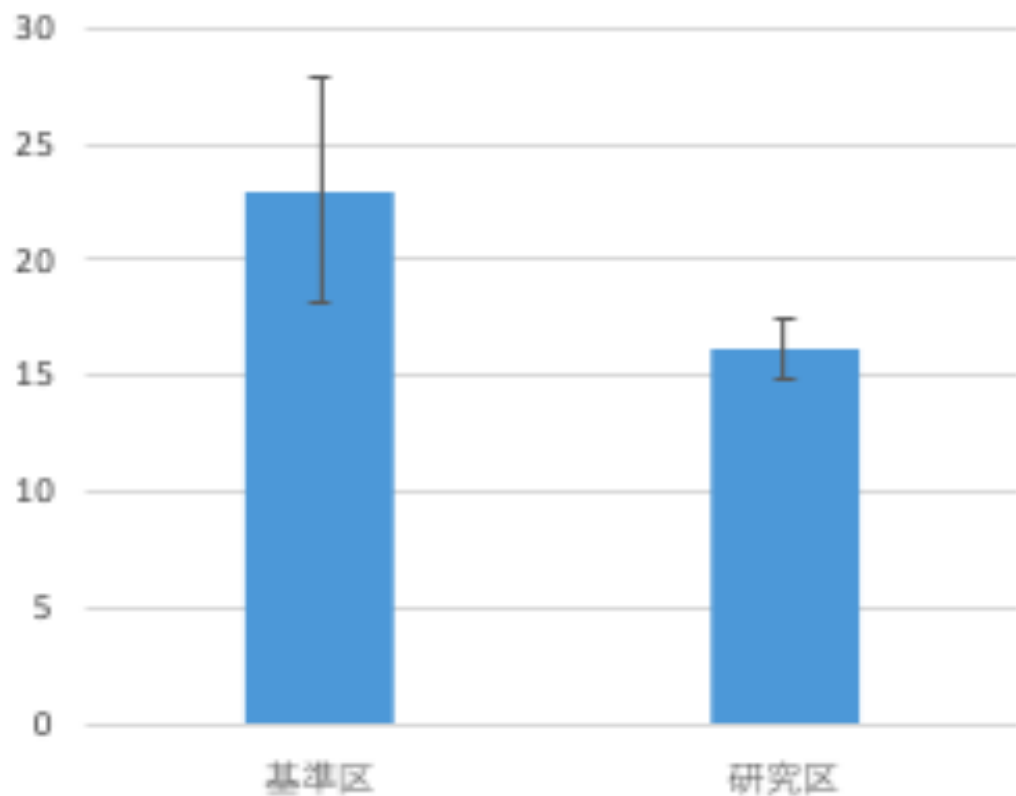
研究区の方が少ない

供試重量（水分16%）

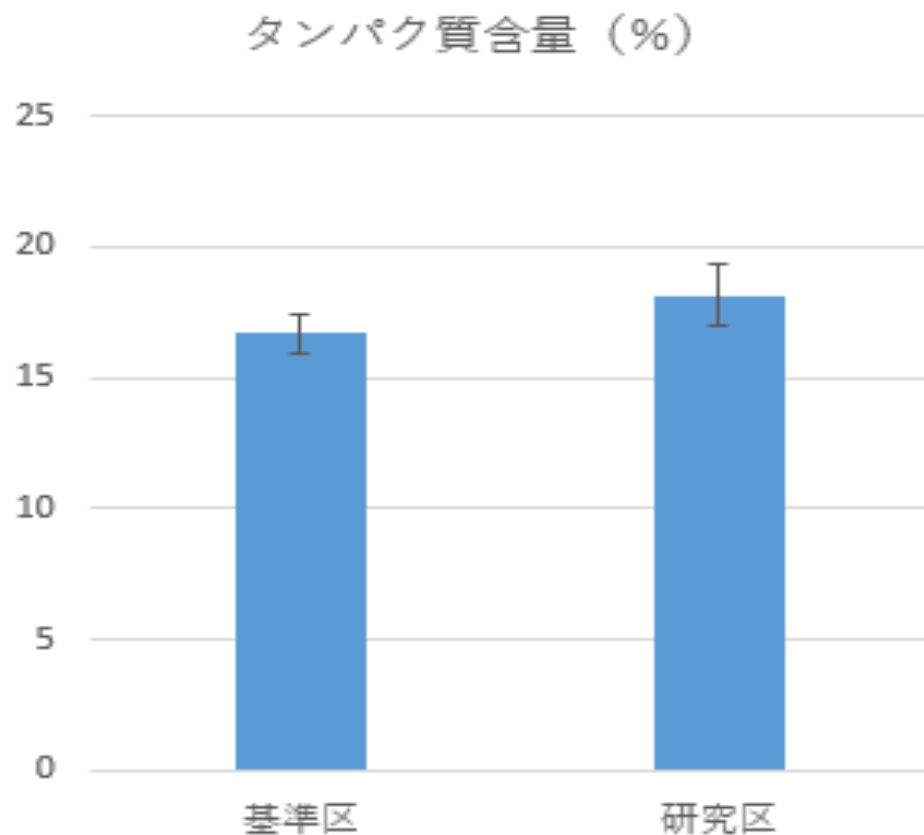


有意に基準区の方が圧倒的に多い

1 穂粒数 (粒/本)

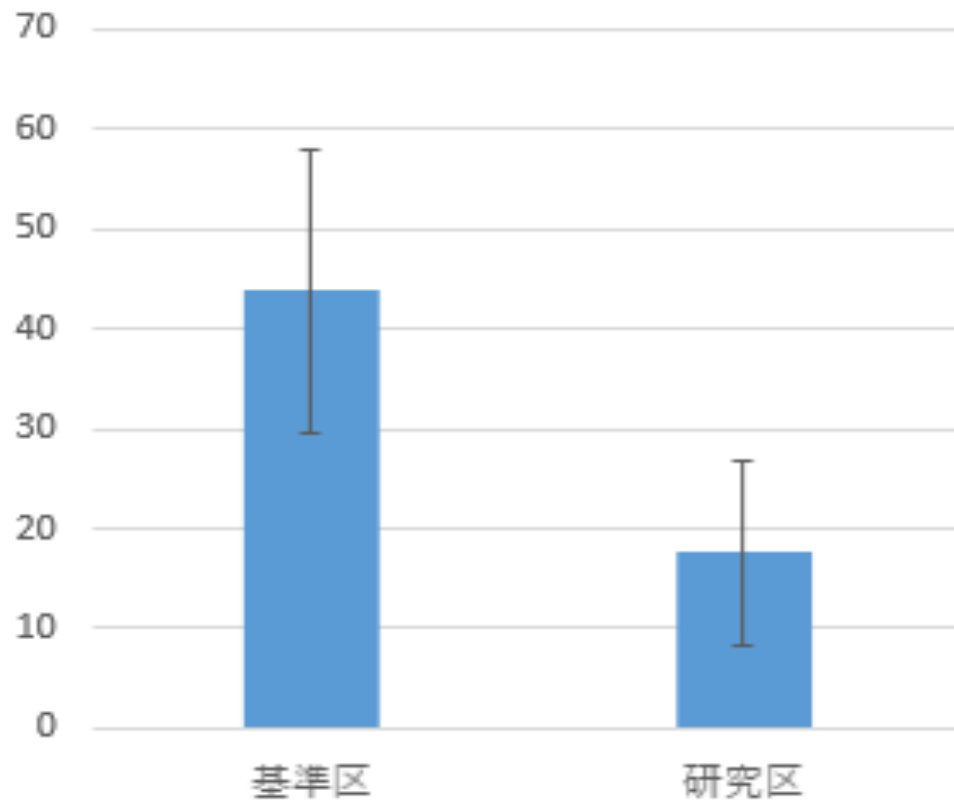


研究区の方が穂一つあたりの粒の数が有意に少ない

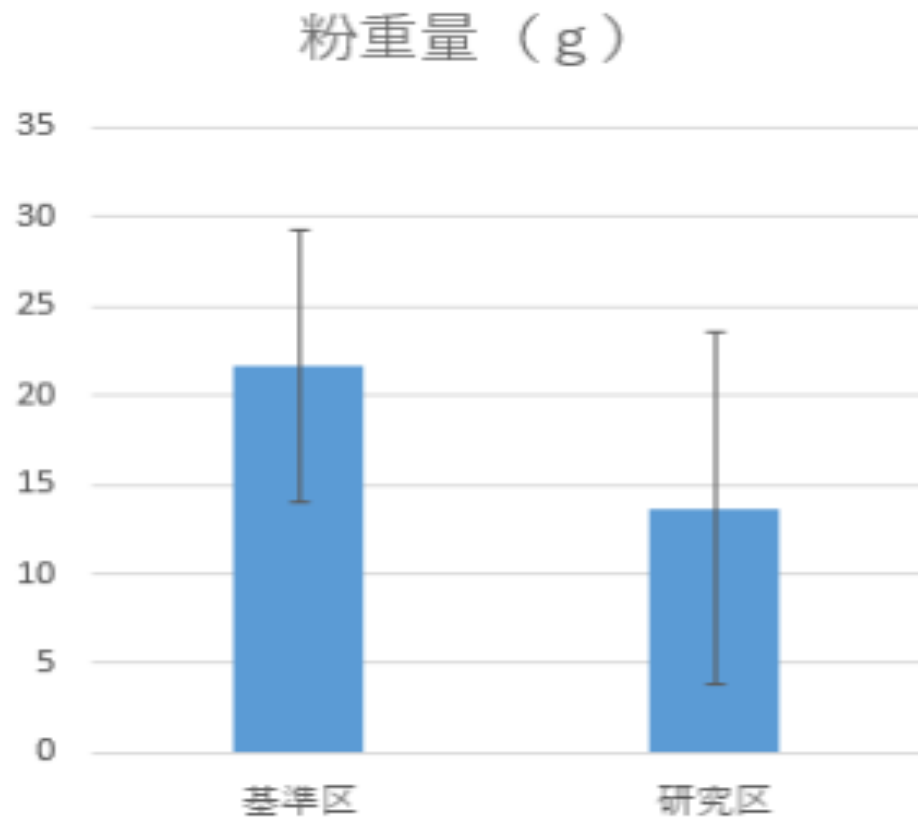


タンパク質含量有意な差はないが、
一般的な値（13～15.5%）よりも高い

ふすま重量 (g)

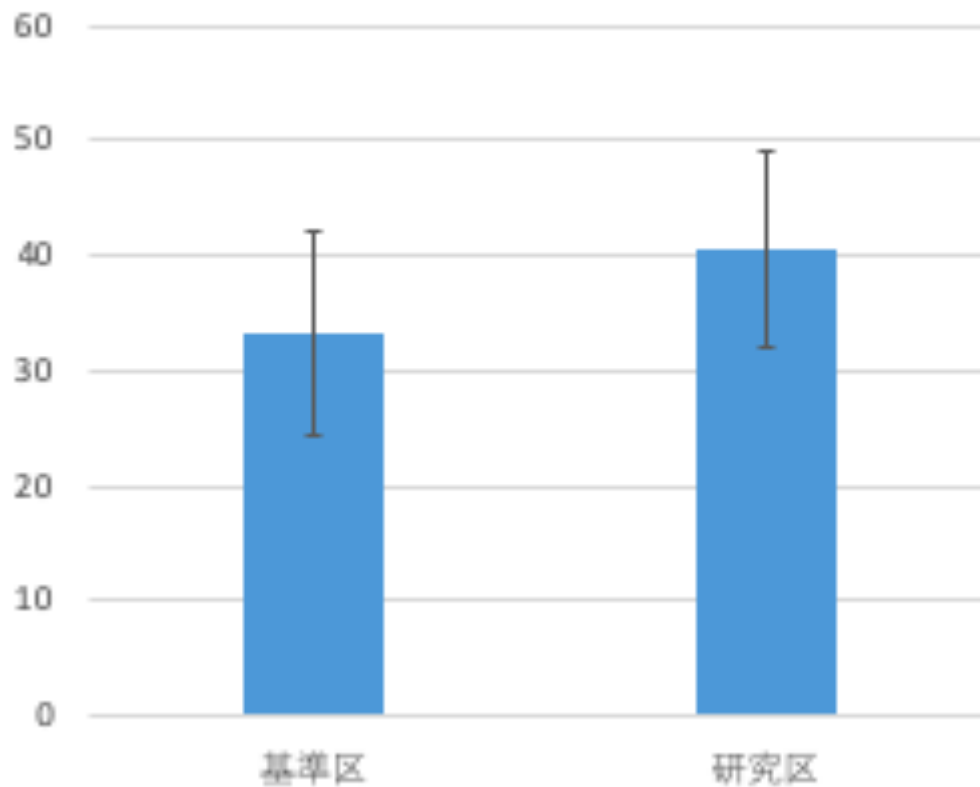


研究区の方が有意に小麦の皮の量が少ない



小麦の量に有意な差はない

製粉歩留



製粉歩留に有意な差はない

結果♡



【結果】

- ❑ 研究区の方が草丈が高かった
- ❑ 収量、供試重量、1穂粒数、ふすま重量が研究区の方が小さかった
- ❑ その他は研究区、基準区で有意な差無し
- ❑ タンパク質含量が高すぎた

《施肥計画に対して》

自分達でたてた計画に対して



有意な差無し

止葉期の肥料の量増加 → 一粒の大きさ~~アップ~~

起生期の肥料の量増加 → タンパク量~~アップ~~

有意な差無し

収穫量~~アップ~~

低下

穂数(本/プランター)

プランター番号	①	②	③	平均
基準区	113	113	183	136.3
研究区	118	106	131	118.3

千粒重(g)

プランター番号	①	②	③	平均
基準区	32.23	20.28	25.31	25.94
研究区	15.31	18.6	23.72	19.21

基準区③



基準区①



基準区



研究区



研究区は一つの穂の長さが長く、
粒数は少ない粒中のタンパク質量が多い

神田川



③

②

①

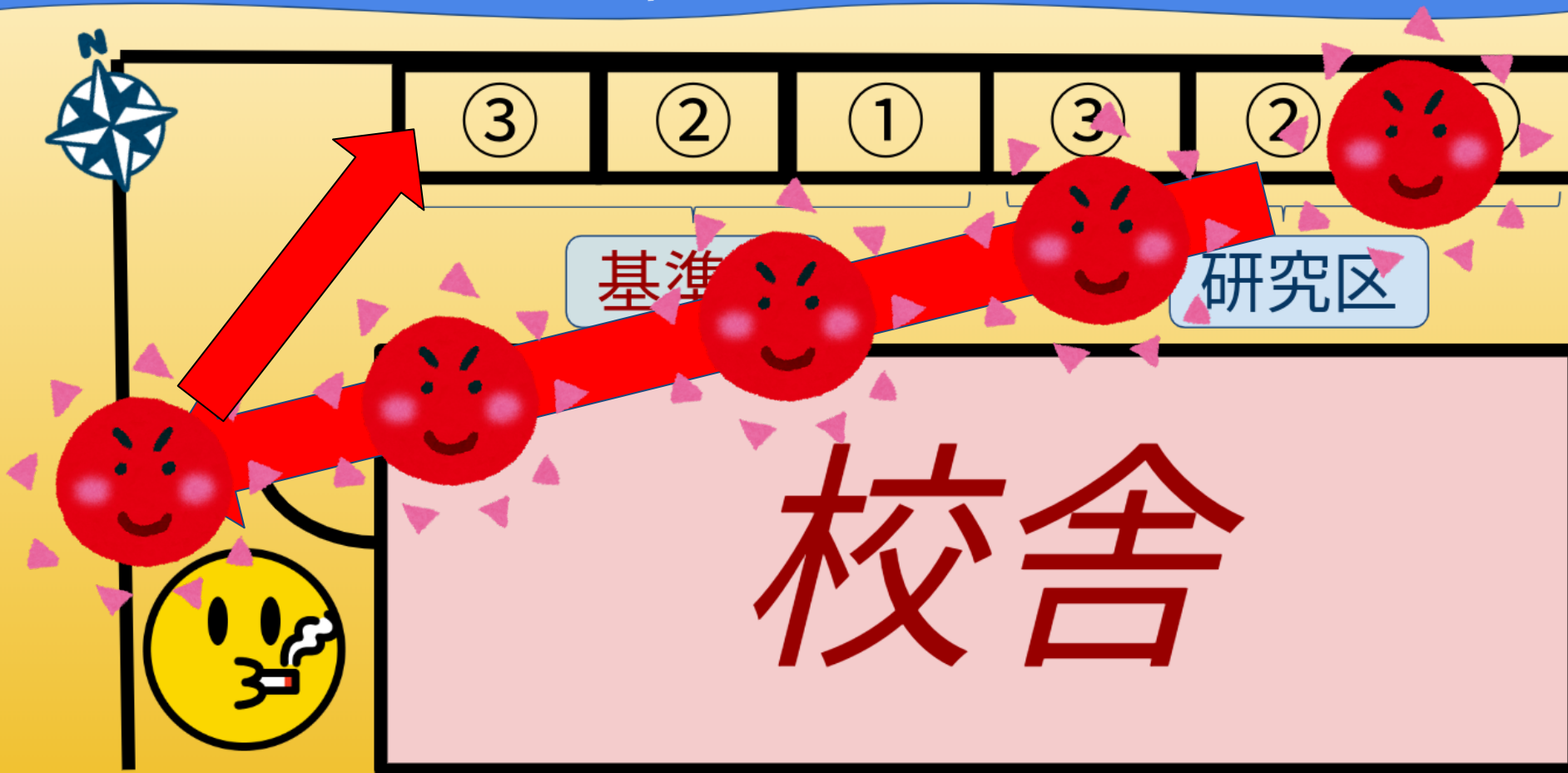
③

②

基準

研究区

校舎



考察

- 研究区の方が草丈が長かった
 - 起生期の肥料を増やした事が影響した可能性がある。
- タンパク質含量が両区で平均以上だった
 - 日照時間が少なかったので足りなかった栄養分をデンプンで補ったため
 - 虫や鳥にデンプンを食べられた



1年間、ありがとうございました

メンバー

渡辺	愛
大西	亮太郎
上田	真聖
山口	大輔
山内	涼生
横尾	拓海

池本	結
小泉	百花
小池	優和
大房	花音
安達	杏華
大塚	麻貴